

[ 横浜能楽堂 ]  
 平成 24 年度 業務計画及び収支予算  
 [公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団]

文中の事業欄において、  
 主催事業 : 共催事業  
 を示します。  
 文中の達成指標欄において、  
 定量的指 : 定性的指標  
 を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	西区紅葉ヶ丘 27 - 2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
建築・延床面積	建築面積 1,771 m <sup>2</sup> 延床面積 5,862.53 m <sup>2</sup>
開館日	平成 8 年 6 月 28 日

### 2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	中区北仲通 4-40 商工中金ビル 5 階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

### 3 基本方針

#### (1) 基本的な方針

横浜能楽堂は、古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の一翼を担い、「古典芸能の総合的な受・発信基地」としての役割を果たします。開館以来育んできた「敷居の低い能楽堂」を継承し、市民が文化芸術に触れ豊かな創造性をはぐくむことのできる文化芸術活動の基盤整備を推進します。

#### (2) 平成 24 年度の位置づけ

##### 事業の方針

指定管理第 2 期がスタートする年にあたり、開館以来育んできた「敷居の低い能楽堂」の継承し、さらに充実に向けて基礎を築く 1 年とします。日中国交回復 40 年、沖縄本土復帰 40 年の節目に相応しい企画とともに発信性の高い企画公演を開催するほか、普及事業にも堅実

<p>に取り組みます</p> <p>運営の方針 能舞台は 600 年のホームページ・ツイッター等、新たな広報ツールの活用にも取り組み、国内外への周知を図るとともに観光客誘致のためのツールとしても活用します。</p> <p>管理の方針 全てのお客様に「安心」「安全」「快適」を提供できるよう、平成 23 年度に修繕した機器の稼働状況を観察し、省エネに配慮しながら、修繕未実施の機器類等の維持・管理に努めます。</p>
---

#### 4 自主事業に関する事業計画

##### (1) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について

[取組み内容]	[達成指標]
<p>幅広い層が鑑賞しやすいように条件整備をした「普及公演」の実施</p> <p>現代を代表する演者が出演する芸術性の高い「特別公演」の実施</p> <p>芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」の実施</p> <p>公演とは違った形で古典芸能を楽しめる講座の実施</p> <p>自らが体験する「教室・ワークショップ」の実施</p> <p>アジアを始めとした海外との古典芸能分野での国際交流事業の実施。</p>	<p>「普及公演-横浜狂言堂」を毎月第2日曜日に、普及公演-バリアフリー能」「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」を各1回開催します。</p> <p>特別公演を1回開催します</p> <p>企画公演「美の世阿弥・華の信光」、日中国交回復 40 周年記念特別企画公演「日中を旅した楽器」、沖縄本土復帰 40 周年「琉球芸能本土に咲く華々」を開催します。</p> <p>講座「この人百話一芸」を年4回開催します。</p> <p>各公演・講座とも券売率 65%以上を目指します。</p> <p>「こども狂言ワークショップ～入門編」「こども狂言ワークショップ～卒業編」「横浜こども狂言会」「初めての能楽教室シリーズ」を各1回開催します。</p> <p>各教室・ワークショップとも定員の 80%以上の参加率を目指します。</p> <p>日加共同制作ダンス作品「Susuriwka」をカナダにおいて再演します。</p>

(2) 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について

[取組み内容]	[達成指標]
<p>公演情報等の収集、提供。                      ブログ、twitter 等の活用若い世代や海外への発信を意識した電子媒体(ブログ、twitter 等)の活用                      国内外の古典芸能等の現状等を現地に赴き、文化・観光の視点からも調査                      調査研究の成果を基礎にした展示の開催。</p>	<p>新聞、雑誌への記事掲載を行います。年間 24 回(月平均 2 回ペース)を目指します。                      ブログ年間 24 回更新、twitter 月 15 回以上ツイート。                      今後の事業企画のための基礎調査として国内 1 か所、国外 1 か所調査し、今後の事業企画に生かします。                      公演関連企画の特別展、常設展等を開催します。</p>

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について

[取組み内容]	[達成指標]
<p>「施設を利用したい」「稽古をしたい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポート。</p>	<p>スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』の実現(公演事前準備支援、公演等創作支援、稽古場探し支援など)</p>

(4) 能楽等に関する地域との連携事業について

[取組み内容]	[達成指標]
<p>地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施。</p>	<p>横浜能楽連盟と協力して「横浜能」、ふるさと西区推進委員会と協力して「かもんやま能」を開催します。</p>

5 施設の運営に関する事業計画

(1) 人員配置

項目	人数	備考
館長	1	非常勤
副館長	1	
チームリーダー	1	
事務職員	4	
補助職員	20	B1 事務所補助職員 4、1F 受付 16

(2) 勤務体制

基本 館長、副館長を除き、ローテーション体制

主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応します。おし。

副館長 9:30 ~ 18:15

チームリーダー、事務職員 A 勤務 8:45 ~ 17:30、B 勤務 13:30 ~ 22:15

補助職員(B1 事務所)

A 勤務 8:45 ~ 17:15、B 勤務 13:45 ~ 22:15

補助職員(1F 受付)

A 勤務 8:55 ~ 14:40、B 勤務 14:30 ~ 20:15

## (3) 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について

[取組み内容]	[達成指標]
能舞台の制約を守りながら、能楽以外での利用にもできるかぎり施設を提供します。 業務の基準に基づき、開館時間・利用料の徴収・施設点検日の周知を行います。	能楽以外での利用にもこまやかに対応できるように相談窓口機能を強化します。 業務の基準に基づき確実に業務を行います。

## (4) 利用促進及び利用者サービスの向上について

[取組み内容]	[達成指標]
利用率向上のための利用申込への柔軟な対応(期限、支払方法、新減免制度) オリジナルグッズの販売を中心としたショップの充実	目標利用率 本舞台(日)30%、第二舞台(コマ)35%、 研修室(コマ)25%、楽屋(コマ)20% ラインナップ・ディスプレイを常に見直し、魅力あるショップを目指します。

## (5) 組織的な施設運営について

[取組み内容]	[達成指標]
「適切な経営組織・人材の確保 企画事業体制の維持・向上 舞台管理、運営体制の維持・向上 施設維持管理体制の維持、向上 適切な人材の配置 職員のスキルアップによる質の高い運営	職員向けの専門研修を年1回実施します。  「バリアフリー能」に先立ち、職員の接遇研修を行いスキルアップを目指します。

## (6) 施設見学等への対応について

[取組み内容]	[達成指標]
施設見学日を定期的に設け、見学者を積極的に受け入れます。 教育機関対処に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を調えます。	スタッフの案内による施設見学日を月に1回開催します。

## (7) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について

[取組み内容]	[達成指標]
助成金等獲得努力 事務経費削減の努力	企業協賛金収入獲得を目指します。1,000千円 助成金獲得に向け申請手続きを行います。13,000千円 チラシの作成枚数を常に精査するなど、高い

	意識を持ち常に経費削減に努めます。
--	-------------------

## 6 施設の管理に関する事業計画

### (1) 保守管理業務について

[取組み内容]	[達成指標]
開館 15 年を過ぎた設備機器に対し、平成 23 年度に行われた大規模修繕危機の稼働状況を観察しつつ、更新した機器はもとより、オーバーホールされた機器類、修繕未実施の機器類のトラブルを未然に防ぐよう、定期的な点検を実施していきます。	年間を通じ定期的な保守点検を実施していきます。 設備機器の運転停止事故ゼロを目指します。 施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図ります。

### (2) 環境維持管理業務について

[取組み内容]	[達成指標]
ある施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行います。 施設周辺に配慮した植栽管理業務を行います。	アンケートでの快適評価 4.0 以上を目指します。 施設ハード面での人身事故ゼロを目指します。

### (3) 保安警備業務について

[取組み内容]	[達成指標]
保安警備	24 時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理し、事故ゼロを目指します。

### (4) 駐車場管理業務について

[取組み内容]	[達成指標]
施設利用者、近隣住民の安全管理 立体駐車場他の管理	駐車場利用車両の安全誘導に努め、事故なしを目指します。 機能を維持していく最小限の保守点検を実施します。年 2 回。

### (5) 防災等について

[取組み内容]	[達成指標]
「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に観客を安全に誘導できるようスタッフ訓練を行います。	消防訓練を年 2 回実施します。

## (6) 緊急時の対応について

[取組み内容]	[達成指標]
緊急時の対応	緊急連絡網の作成 あらゆるケースを想定し、全スタッフに対応の徹底を図ります。

## (7) 文化財の保護について

[取組み内容]	[達成指標]
本舞台の建築物としての維持保護	スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は教育委員会に申請します。

## (8) 光熱水費の削減努力について

[取組み内容]	[達成指標]
光熱費削減の努力	本舞台自由見学日の客席照明について、お客様からの見学ご要望が出た場合に点灯し、終了したら消灯することにより、光熱水料費等の削減に努めます。 日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がけます。

## 7 PDCAサイクルの確実な運用

## (1) 業務記録について

[取組み内容]	[達成指標]
日報及び月報の作成・管理	業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。

## (2) 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組み内容]	[達成指標]
業務計画書及び業務報告書の作成・管理	定められた様式に沿って作成し、管理します。

## (3)-1 業務評価(モニタリングの実施)について

[取組み内容]	[達成指標]
モニタリングの実施による業務評価	毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告します。

## (3)-2 業務評価(自己評価の実施)について

[取組み内容]	[達成指標]
自己評価の実施による業務評価	業務実績および利用者の満足度や意見を基に自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努めます。

## (3)-3 業務評価(第三者による評価の実施)について

[取組み内容]	[達成指標]
第三者評価の実施による業務評価	外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対応します。

## 8 その他の計画 留意事項

## (1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組み内容]	[達成指標]
保険及び損害賠償の取り扱い	施設賠償責任保険を掛け、必要時に適切な対応を実施します。

## (2) 法令の遵守と個人情報保護

[取組み内容]	[達成指標]
法令の順守と個人情報保護への取り組み	横浜市個人情報保護条例に基づき適正に管理・保護に努めます。

## (3) 情報公開への積極的取り組み

[取組み内容]	[達成指標]
情報公開への積極的取り組み	事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開します。

## (4) 市及び関係機関等との連絡調整

[取組み内容]	[達成指標]
市及び関係機関等との連絡調整	市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努めます。重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事務局に報

	告・協議し、適切な処理を心がけます。
--	--------------------

## (5)その他

[取組み内容]	[達成指標]
適切な許認可及び届出等 施設の目的外使用 名札の着用 人権の尊重 近隣対策 書類の管理 行政機関が策定する基準等の遵守 法律の制定及び改正への対応	業務の基準に基づき適切に運営を行います。

## 9 収支について

## 収支予算書

(千円)

項 目	予 算 額	備 考
収 入		
指定管理料収入	170,000	協議の結果に基づく
利用料金収入	16,000	5 ( 3 ) に基づき算出
事業収入	59,918	4 に基づき実施することによる収入
その他収入	400	助成金・協賛金収入等
合 計	246,318	

支 出		
人件費	83,681	5 ( 1 ) に基づき配置
管理費	72,481	6 に基づき実施、その他光熱水費等
事業費	71,171	4 に基づき実施
事務費	18,985	消耗品費、租税公課等
合 計	246,318	

収 支 計	0	
-------	---	--



横浜能楽堂 平成24年度 自主事業一覧

No.	実施時期	主催・共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込み
1	4月	主催	横浜こども狂言会	横浜能楽堂本舞台	こども狂言ワークショップ入門編ーの修了生とそのOBの組織である「いろはの会」のメンバーが、本舞台で、本物の装束を付け、狂言を上演する。	20(参加者)
2	4月～12月	主催	講座「この人 百話一芸」	横浜能楽堂本舞台	NHKエグゼクティブアナウンサーの葛西聖司を聞き手に、古典芸能に関わりのある人を招き、前半はそのひとが歩いて来た道、後半はとっておきの芸を披露してもらい芸談を聞く。年4回開催。	316(各回とも)
3	4月～3月	主催	普及公演ー横浜狂言堂ー	横浜能楽堂本舞台	気軽に能楽堂へ足を運んでいただけるよう、毎月第2日曜日を「狂言の日」とし、解説付きで狂言2曲が2000円の低料金の公演を開催する。	316(各回とも)
4	4月	主催	沖縄本土復帰40周年記念特別企画公演 「琉球芸能 本土に咲く華々」	横浜能楽堂本舞台	沖縄本土復帰40周年を記念し、本土で活躍する琉球舞踊家による公演を開催。	316
5	6月	主催	第60回横浜能	横浜能楽堂本舞台	能楽愛好者の集まりである横浜能楽連盟との共同主催による公演。横浜ゆかりの出演者、曲を中心に、愛好団体と協力しながら普及のために実施。	316
6	7月	主催	日中国交正常化40周年記念特別企画公演 「日中を旅した楽器」	横浜能楽堂本舞台	日中国交正常化40周年を記念し、中国の「三弦」が琉球に渡り「三線」になり、日本で「三味線」へ変遷していくまでにたどった道のりを各当地の名手の演奏で迎える。	316
7	7月	主催	普及公演「夏休み親子能楽ワンダーランド」	横浜能楽堂本舞台ほか	夏休みの1日を利用し、親子で能楽に親しめる公演を開催。こどもチケット購入者対象の体験教室も同時に開催。	316
8	8月	主催	「Susuriwka-willow bridge(ススリウカ)」カナダ公演	ハーバーフロントセンター(カナダ)	平成22年度に先住民をキーワードに日加で共同制作したダンス作品「Susuriwka-willow bridge」がカナダの先住民アートのフェスティバル「Planet IndigenUs」から正式に招待を受け、カナダにて再演する。	-
9	8月	主催	こども狂言ワークショップ入門編ー	第二舞台	子どもたちに、気軽に狂言に触れてもらうため、3回にわたり扇の使い方、足の運び、小謡など基礎的な稽古をした後、3日目には狂言の一部を演じる。受講生は、併せて「夏休み親子能楽ワンダーランド」も鑑賞。	20
10	9月～1月	主催	企画公演「美の世阿弥 華の信光」	横浜能楽堂本舞台	歌や王朝文学を素材として「美しさ」を追求した世阿弥。神話や中国の伝説をもとに「華やかさ」を前面に出した観世信光。能という芸能に厚みをもたらした、2人の究極の名作に焦点をあて、3回シリーズで、その魅力を紹介する。	316
11	10月	主催	初めての能楽教室	横浜能楽堂本舞台・第二舞台・楽屋	本格的に能楽の初歩を学べる講座。お仕事帰りにお稽古できるよう平日夜に開催。	18
12	11月	主催	第29回横浜かもんやま能	本舞台	ふるさと西区推進委員会と協力して実施。掃部山公園の名称由来となった井伊家にゆかりの出演者によって開催。	316
13	1月	主催	こども狂言ワークショップ卒業編ー	横浜能楽堂第二舞台	夏休み期間中に開かれる「こども狂言ワークショップ入門編ー」参加者を対象に、「卒業編」を実施。	316
14	2月	主催	特別公演	横浜能楽堂本舞台	見巧者にもご満足いただける出演者・曲目でお送りします。	340

15	3月	主催	普及公演「バリアフリー能」 能「土蜘蛛」、狂言「鐘の音」	横浜能楽堂本舞 台	様々な障害を持つ人が気兼ねなく能・狂言を楽しむことができるよう、介護者一名まで無料、点字解説、手話解説等の条件整備をした公演。	316
16	6月	主催	日中国交正常化40周年記念 特別展「楽器は語る」	展示廊	三弦、三線、三味線の名器や、名人上手が使用した由緒あるものを集め、楽器にまつわるエピソードとともに展示。	700
17	9月	主催	特別展「美の世阿弥 華の信光」	展示廊	企画公演「美の世阿弥 華の信光」に使用する装束を山口能装束研究所より拝借し、同時に能装束展を開催する。	2,500
18	通年	主催	常設展「初めて知る能・狂言の世界」	展示廊	能装束、扇、能面、謡本など能・狂言にまつわる基本的な資料を解説付きで展示。	4,800